



WEEKLY REPORT

Rotary  東京立川ロータリークラブ 2020.2.21 第2876回 例会

2019～2020年度 RIテーマ



2019～2020年度
国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー

ロータリーは
世界をつなぐ

2019～2020年度 クラブテーマ

Restart!

創立60周年 第2ステージの始まり
2019-2020

東京立川ロータリークラブ
会長 長井 守



卓話講師の西澤 哲様と一緒に

【会長挨拶】 長井 守 会長

野村克也さんは日本の野球界に多大な功績を残した事は言うまでもありませんが、人生哲学が凝縮された数多くの名言でも人々に知られています。野村さんのエピソードの中に、出身大学が同じである事から私がとりわけ印象に残っている事があります。現在の日本代表「侍ジャパン」の稲葉監督の話です。稲葉さんは法政大学4年間で6本しかホームランを打っていません。そのうち明大戦で放った2試合連続アーチを、当時ヤクルトの監督をしていた野村さんが観戦に訪れていました。野村さんは、息子克則さんのいる明大側の応援に来ていたのです。「プロは無理でしょう」と反対するヤクルトのスカウト陣を押し切り、稲葉さんをドラフトで指名しました。そしてプロ入り後、野村さんの指導のもと、稲葉さんは2000本安打の名選手に育つわけです。ヤクルトの監督時代に、古田選手を初め多くの選手を育てあげ、他球団へ行っても野村再生工場をフル回転し、くずぶっていた才能を開花させた選手は枚挙にいとまが無い程です。ID野球を学び野球の本質や奥深さを理解した野村チルドレンは、今では各球団で伝播し指揮を執っています。野村さんの選手を見抜く観察眼の重みは、選手として監督として、そしてまた評論家として様々な側面から日本球界を大きく発展させた大功労者と言えるでしょう。



長井 守 会長

野村さんの名言集の中に、こんな言葉があります。「コンピューターがどんなに発達しようとしても、仕事の中心は人間だ。ならば、そこに「縁」と「情」が生じる。それに気づき、大事にしたものがレースの最終覇者となるのだ」と、色々なキャリアを歩んできたからこそ、見えるものがある言葉です。野村さんは生前、自らを「ひっそりと咲く月見草」と例えました。まさに人生の覇者となった今、「誰よりも輝く月見草」として、野村イズムは今後も継承されていく事でしょう。

【お客様の紹介】 長井 守 会長

西澤 哲 様

(山梨県立大学人間福祉学部教授・学部長)

藤岡秀樹 様(東京国分寺RC)

近藤 裕 様(東京国分寺RC)

西川哲造 様(東京昭島RC)



司会進行
保坂正憲 委員



ニコニコ発表
榎戸 学 委員



出席率の発表
松井信雄 委員

【司会進行】

SAA委員会 保坂正憲 委員

【開会点鐘】 長井 守 会長

【ロータリーソング斉唱】

『我らの生業』

【お客様の紹介】 長井 守 会長

【会長挨拶】 長井 守 会長

【幹事報告】 中山賢一 幹事

【ニコニコ発表】

親睦委員会 榎戸 学 委員

【出席率の発表】

出席委員会 松井信雄 委員

2月21日(金)	会 員 数	122名
	出席 義 務 会 員	113名
	出席 免 除 会 員	9名
	当 日 出 席 者	105名
	出席免除会員の当日出席者	4名
	出 席 率	89.74%
	2月7日の出席率	85.47% → 96.61%

【卓話】

山梨県立大学人間福祉学部教授・学部長

西澤 哲 様

【閉会点鐘】 長井 守 会長

例会場:パレスホテル立川(立川市曙町2-40-15)
 例会開催日:毎週金曜日 開会点鐘 12:30
 会報担当者:栗原 卓
 発行者:長井 守

事務局:立川市曙町2-34-6 小杉ビル8階
 【TEL】042-525-4046 【FAX】042-529-2666
 【HP】http://www.tachikawa-rc.org/
 【E-mail】ttrc8082@sepia.ocn.ne.jp



例会時には必ずバッジをつけましょう

【幹事報告】 中山賢一 幹事

●メールボックスに地区大会のご案内を配布。新型コロナウイルス流行で若干の変更し開催予定。前日会長幹事が参加する会議は予定通り開催。翌日の地区大会本会議は、予定通り開催も懇親会は中止。来週2/28(金)の例会は、地区大会/グランドプリンスホテル新高輪に振替となりますので、ご注意ください●本日青少年奉仕委員会炉辺、開催予定



【ニコニコ発表】 親睦委員会 堀越 豊 委員

- 長井 守会長 西澤 哲様、お忙しい所お越し下さり有難うございます。本日は卓話宜しくお祈いします。
- 中山賢一幹事 西澤 哲先生、本日の卓話宜しくお祈い致します。
- 山口貞夫さん 同業の大大先輩、国分寺ロータリークラブの近藤 裕先生のご来訪を歓迎致します。
- 市村 博さん 結婚記念月の記念品、有難うございます。
- 岡部直士さん 先週から水曜日にかけて、富山国体へアルペンジャンプ・クロスの団体長として40名の選手を引き連れて頑張ってきました。又、本日からは、苗場でワールドカップです。応援に行ってきます。
- 岡部直士さん 三回の冬季オリンピックに出場し、北京オリンピックも目指している、シーハイルアカデミーたちかわ所属の湯浅直樹選手が、明日22日“炎のランナー”に出ています。皆さん見て下さい。残念ながら…
- 増田太一さん 地区チーム研修セミナーでは、尾内さん織原さんには、大変お世話になり有難うございました。
- 三田村秀雄さん 西澤先生の卓話を楽しみにしております。宜しくお祈い致します。
- 小林 寛さん 先日は多くの皆様には、バンライブにご来場頂き有難うございました。また地区研修では尾内次年度ガバナー補佐、織原次年度グループ幹事には大変お世話になりました。

本日合計 29,000円 本年度累計 2,206,000円

【卓話講師紹介】

プログラム委員会 三田村秀雄 委員

子どもの虐待というとはしばしばテレビ等でも取り上げられ、何故あんなかわいそうな事をするのだろうか、もっと早く保護してあげれば良いのに等々思います。私が以前勤めていた施設の横に乳児院があり、乳児院長を勤務していた時期もあります。乳児院はその昔孤児院と言われていましたが、今は乳児・孤児を保護するというよりも虐待を受けた子どもを保護する施設でありまして、そこで数々の



悲惨な事件を目の当たりにし、その際に読んだ書籍で西澤先生のお名前を知る事になります。単に虐待が酷いという話ではなく、何故虐待をしてしまうのかという本質的なところを掘り下げてアプローチされているという事に感銘を受け、いつか講演をお聞きしたいと思っていました。西澤先生は神戸市のお生まれで、大阪大学卒業後、サンフランシスコ州立大学で子どもの心理等についての研鑽を積まれて、帰国後に大阪大学の助教授を務められ、その後山梨県立大学に赴任され、現在は学部長も兼任されております。子どもの虐待防止センター、児童虐待防止協会等の理事も務められておりました、業界では第一人者であります。

卓話 「子どもの虐待はなぜ起こる」

西澤 哲様
(山梨県立大学 人間福祉学部教授・学部長)



三田村先生から過分なご紹介を頂きましたが、本日の講演は29分で終わる様にご指示を頂いております。実際大学の授業は90分、その他専門的な研修だと3時間程度ですので極めて難しいテーマですが、これを30分で話せたらノーベル賞ものなので心配しております。そして今先生からプロフィールをお話し頂き、立川には何の縁も無いと思われるかもしれませんが、アメリカから帰国後1990年から10数年間、錦町の至誠学園という養護施設で非常勤の心理士として当事在住の大阪から通っておりました。その頃子どもの虐待が社会問題化するという時期で、2000年に虐待防止法を成立させましたが、その後10年間更に子ども達から多くのものを学び、現在でも厚労省に絡んでおりますので、色々な施策に活かしています。その基礎の一番目は宮城なのですが二番目はこの立川という事で、今日は恩返しに來させて頂き、少しでもこのテーマに関心を持って頂けたらと思い、引受けさせて頂きました。

2017年のデータですが、児童相談所に虐待として通告された件数は約16万件です。更に市町村に対しても通告がありますので、それが約10万件、そこから重複分3万件を差し引いて、年間合計23万の通告があります。1990年の通告数は約1,000件ですので、急増している事がお分かり頂けると思います。そして虐待先進国ともいえるアメリカでは約300万件ですので、桁違いに多いと思われるかもしれませんが、軽微なものまで含まれていますので、実際は公的機関が調査をして虐待だと認められた件数としては約67万件となります。日本は逆に重度の場合が殆どですので、上記の通告件数を虐待件数とみなしていいだろうと思います。子ども人口の定義が異なるので一義的に比較は難しいのですが、人口1,000人あたりの通告者数の



全会員出席で「第二ステージの始まり」を共有しよう！

割合は米国2.1人、日本は1.9人という事で追いついてきてしまっており、これは日本にとってかなり深刻な問題です。そしてこの増加の捉え方は、私自身の言葉ですが「顕在化説」と「実質増加説」があると思います。ただ通告件数ですので、実際に増えているのかは分かりません。多くの専門家や厚労省は顕在化だと言っております。今まで潜在的にあったが通告されていなかったものが表に出てきたという事で、アニメの星一徹は家庭内に多くいたという事実が表面化したものなので、顕在化としているのです。昔は家庭内の事に関して社会は口出ししない事が暗黙の了解、という様な事がありました。2000年の児童虐待防止法、2001年にDV防止法も施行され、それを境に家庭内での暴力であっても、社会が介入しますよという様に市民の意識も変わってきたという事で通告が増えただけで、実際には増加していないのだという捉え方です。一方で1,000件から16万件ですので、幾らなんでも顕在化というだけでは説明が出来ないので、件数は増えているのだとしているのが実質増加説です。私は実質増加説側に立っております。これには明確なエビデンスといえるものはありませんが、そこまでではないものの「顕在化」では説明が付かないものがあるからです。子どもの人口は減っているにも関わらず、乳児院や児童養護施設に入る必要のある子どもの数が増えているのです。昨年誕生した新生児が約86万人と想定外に減っているのに、施設にはいる子ども達が増えているという矛盾が生じており、この事から実質増加であると考えています。では何故虐待が増えているのだろうか、40年来臨床が専門ですので、子ども達を治療したり親に対してカウンセリングを行なう中で酷い虐待を見る様になって、一体何が起きているかという事で社会指標を追っておりますが、一つは若年の婚姻における妊娠先行結婚(できちゃった婚)の多さがあります。10代の結婚の80%は妊娠先行結婚で、20代前半でも60%となっております。もう一つはとても分かりにくい事でまだ確定出来ませんが、10代の出産数が微増しているという事です。10代の妊娠数は変わらず、中絶数が減っている為に出産率が上がってきています。現在日本女性の平均初産年齢は30.6歳で、学校を卒業後に就職し、社会人として一人前になるのに10年近くを要する事を考えれば、それ以前に結婚して子どもを出産する事は難しいと思われる中で、10代での出産は相当なハイリスクになるのです。そして妊娠先行結婚は非常に離婚率が高く、サンプリング調査ですが、平均で50~70%が3年~5年で離婚しているという結果が出ています。子どもが出来たから結婚するという形は、通常の婚姻後の妊娠出産という形に対して、夫婦の関係性が脆弱であるがために破局しやすいと言えます。この数字は母子世帯が増加する事を意味しています。日本の慣習で

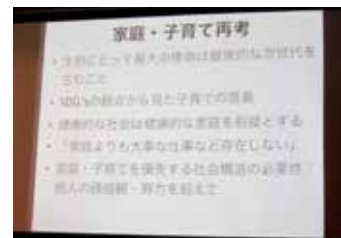


もありまして裁判所もその様に考える傾向にあります。子どもが幼ければ親権は多くが母親に行く事が多く、母親の収入などが考慮されていない事も多いのです。そして母親の平均年齢も低下してきており、直近のデータでは母子家庭の母親の平均年齢は33歳で、子どもは4.9歳です。この事から若年母子世帯が増加している事がお分かり頂けると思いますが、更に母子家庭全体の53%が相対的貧困線以下の所得しかないのです。職歴もあまり無く経験がないまま妊娠先行結婚し、その後に離婚して乳幼児をかかえたまま就職して仕事ができるかというと、非常に厳しいのが現実です。その中で健全な子どもの養育は非常に困難であると言わざるを得ませんし、母子世帯の貧困が子どもの虐待に繋がっている一つの温床になっているとも言えます。母親たちはどの様に生計を立てていけば良いのか非常に厳しい中で、養護施設に来る子どもの母親に聞き取りをすると、性風俗産業で生計を立てている方も多くいる事が分かります。性的な労働は女性の心を壊してしまう事が多いです。そこから不適切な養育が起こるのです。2010年に、大阪西区で幼いきょうだいを自宅に残したまま50日間外出し、二人が腐乱死体で発見された事件で、犯人の女性の心理鑑定で裁判に絡みましたが、彼女も性産業に関わって精神的に蝕まれて事件を引き起こしています。

そして重要なのは、虐待の増加という事実を直視する必要があります、という事です。専門家や厚労省が「顕在化」というのは、虐待が増えているという事は家族がおかしくなっているという事になり、それは社会がおかしくなっているからだという連関を考える必要が生じるので、通告件数は増えているけど昔から多くあって、事が顕在化しただけで何も変わっていないという方が安心感が出るが故に厚労省や専門家の多くが『顕在化』を主張するのではないかと思います。しかし、それは非常に危険だと考えています。実際に増加していたとしたら、気付いた時には『手遅れ』になっているかもしれないからです。その事からも実質的に増えていると、感じておく事が必要なのではないでしょうか。



続いて「虐待」「家族」「社会」についてですが、家族の養育機能の低下の反映として、子どもの虐待が増加しているのではないかと考えています。「虐待」が増える要因の一つには、「社会」があるとも捉えています。資本主義社

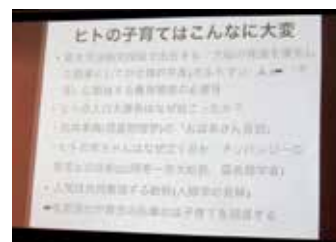


会が発展していく中では家族が少なからず影響を受けており、これに関してはエビデンスがあります。資本主義が発展していくと、大家族から核家族へと小さく変化していくのです。一次産業であれば家庭内に働き手が多く同居しており当然大家族は有利であります。会社勤務が増えて転勤なども発生すると、移動を伴う為家族の単位は小さい方が便利であるという観点から、核家族化が進行してきたのです。大家族から核家族化が進むという変化が生じるのであれば、それまで家族が果たしていた機能は本来社会が担保すべきなのですが、日本はいびつで社会的な整備が追いつかないので、例えば待機児童問題が発生したりしています。つまり社会の発展は家族に大きな影響を及ぼしており、今の社会のあり方が家族を壊して虐待を増やしている可能性はあるのだと思います。諸外国では「家族」という単位をととても尊重しますが、日本はとていびつでいつの間にか「単身赴任」という事も当たり前のようになっています。外国ではとても認められないので日本独特のものだと思いますが、これによって夫婦の関係も実は厳しくなっている場合も多いかと思えます。カウンセリングなどでは、夫が単身赴任で子ども二人をワンオペで育てているという様な、お母さんからの悲鳴も聞えてきますが、これも社会が家族に影響しているという事の1つだと思います。

皆様にお考え顶きたいのですが、SDGsのバッジを先程頂きました。皆様の様な企業家の方々このバッジを付けているのをよく拝見するのですが、福祉関係者がつけているのを見た事は殆どありません。社会の健康度を保つためには企業だけではなく、福祉も責務を負う必要があるのだと思います。社会も健康でなければ当然企業も倒れてしまいます。そしてまた家族も大変重要だと思います。タルコット・パーソンズというアメリカの社会学者は、核家族の基本機能の中で「情緒的安定性の回復」を唱えています。つまり様々なストレスがある労働者が家に帰り、家族が関わる事によってそのストレスが解消し、情緒的な安定も回復して健康的な労働力として毎日出掛けていけるという事です。そう考えると家族が健康でないと、企業側も健康的な労働力を確保出来ないという事になってしまいます。社会全体として「家族を守っていく」という体制を作っていかなければ、結果的に虐待を増やしてしまっている可能性が高いと考えます。

そして生物にとって最大の使命は、健康的な次世代を育む事で、SDGsの観点からしても子育てはとても重要であり、健康的な社会は健康的な家庭を前提としているのです。関わっているある病院の経営者は「家庭よりも大事な仕事など存在しない」と言い切っていて、とても名言だと思っています。家庭よりも優先すべき仕事など存在しないという観点からすれば、家庭・子育てを優先する社会構造が必要で、これは個人の価値観や努力の問題ではなく、社会全体が家族を、子育てを大事にする価値観を共有す

ることが大事であると思います。かつてNHKの番組に出演させて頂いた際に「スウェーデンの子育て事情」というのを取材している事に対してコメントを求められたのですが、朝街のカフェにベビーカーを引いてくるのはお父さんで、その方々にインタビューしていたりリポーターは「日本では殆ど見ない光景で、基本はお母さんの仕事です」と話すと、その反応として最初は「それは素晴らしいですね」と言い、次に「でも自分は嫌です。それは子どもに自分が影響を与えないという事になるから」という反応が返ってきました。自分が子育てに関わらないとお母さんの影響だけで子どもが育ってしまう、それが嫌だというのが大方の反応であり、とても良い考えだと思いましたが、多く男性がそう答えられるというのは雰囲気であったりその社会があるからだろうと思います。1つ興味深い事をお伝えしますが、人間の赤ちゃんは本当は生物学的には20ヶ月程度、お母さんのお腹の中にいなくてはいけないそうです。普通は10ヶ月で生まれてきてしまいますが、それは脳の発達を優先するという結果として、早産してしまうという事なのです。20ヶ月だと脳が発達しすぎて産道を通る事が出来ず、母体を壊してしまうからです。これを「生理的早産」といいます。つまり生後1年間は赤ちゃんは胎児の状態だということになります。という事は子宮内環境を子宮外で整えなければならぬので、生物の中で一番子育てが大変だといわれています。だからこそそれを理解して、母親だけが育児をするのではなく皆で育てていく事が重要なのです。今日は虐待が何故生じるかという事は全てクリアには出来ておりませんが、社会が子どもの育児を大事にする事によって、回りまわって皆様の資本も大きくなるという事で、社会のあり方を考えて頂けたらと思ってお話させて頂きました。



親睦とクラブ活動の源(みなもと) 「炉辺会合」沸騰中! Part 4

青少年奉仕委員会炉辺開催

2/21(金)ホテル日航立川 東京にてチャリティー・クリスマス・コンサートの慰労も兼ね、青少年奉仕委員会炉辺が開催されました。



青少年奉仕委員会の皆様▶